

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)		
山口市	阿東生雲地区(田野上、田野中・下、矢柱、正地、中河内、姥金、古市、相上、本町、下新町、中村、寺田、本郷、天子上、天子中、天子下、開作、町、成谷、銅、須の原、白井谷、野地、大山、赤釜)		
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月	
平成24年12月	平成30年12月	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	326. 9 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	250. 7 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	60. 8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	31. 1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1. 7 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・立地条件が悪い
- ・耕作者の高齢化
- ・雇用のための利益

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・集落で補う。
- ・中心経営体は引き続きできる範囲で耕作をする。
- ・地域の関わりのある方(候補者)を支援する。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・担い手協議会で行っているトラクターの貸出しなどの支援事業を活用する。
- ・まとまっている中山間直支の補助金制度の活用により、集落同士で助け合う。
- ・山口型放牧などを活用し、荒廃農地を防ぐ。

5 中心経営体

20経営体

- ①現状の経営面積合計 147.3ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大149ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 1.7ha)